

# 地歴 問

## 地理歴史等

24 年 度

注 意

1. 「解答はじめ」というまで開いてはいけない。
2. 問題は1冊(本文25ページ、下書用紙2枚)、解答用紙は1枚である。下書用紙は問題冊子の中にはさみこんであるので引き抜いて使ってよい。なお、問題冊子と下書用紙は持ち帰ってよい。
3. 全部の解答用紙に受験番号を書くこと。受験番号は次の要領で明確に記入すること。

(例) 受験番号 50001 番の場合 → 

5	0	0	0	1
---	---	---	---	---

4. 1) 世界史, 2) 日本史, 3) 地理, 4) 倫理, 政治・経済, 5) ビジネス基礎, 以上5科目のうちから1科目を選んで答えよ。さらに選択科目の番号を受験番号の隣の欄に書くこと。

(例) 2) 日本史を選んだ場合 → 

					2
--	--	--	--	--	---

5. 解答は、解答用紙の所定の位置に横書きで書くこと。他の所に書くと無効になることがある。字数などの指示がある場合は、その指示にしたがって書くこと。字数制限がある場合、洋数字およびアルファベットにかぎり、1マスに2文字入れることができる。句読点は、1マスに1文字とする。問題番号にも、1マスを使用すること。例えば問1ならば1と書けばよい。

## 地 理

### I アルゼンチンの農牧業に関する以下の問いに答えなさい。

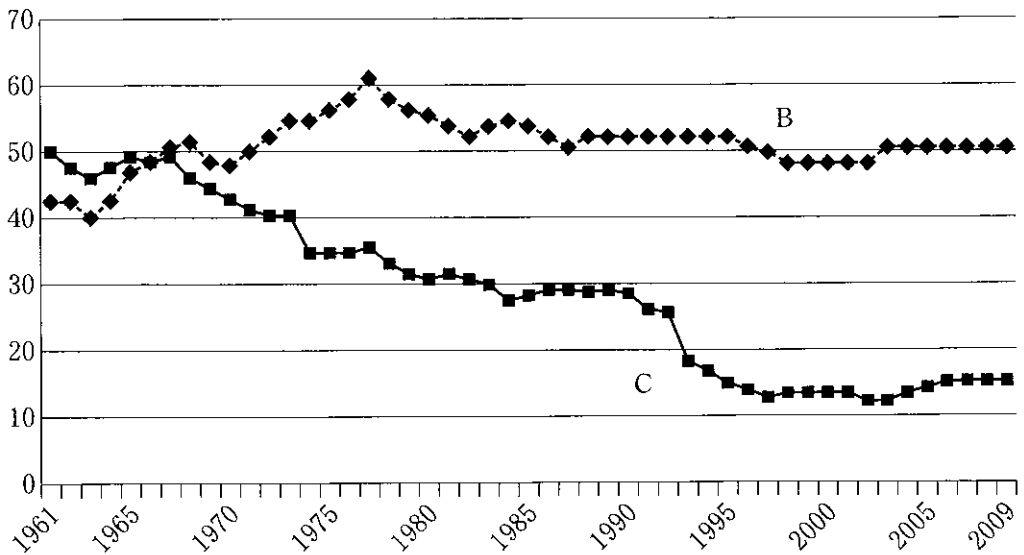
- 問 1 アルゼンチンの国土面積は 278 万  $\text{km}^2$  で日本の約 7.5 倍の広さがあるが、国土のすべてが農作物の栽培に適しているわけではない。アルゼンチンの国土の中で、小麦やトウモロコシの栽培に適した地域は何と呼ばれているかを答え、その地域はどのような地理的な特徴を持っているかを説明しなさい。なお、その際、その地域を流れる河川の名前と、その地域の東部と西部の気候の違いに言及すること。(125 字以内)
- 問 2 表 I-1 は、アルゼンチンの主要農作物の生産量と収穫面積の変化を示したものである。生産量が急増した農作物 A は何かを答え、農作物 A が他の農作物を上回る伸びを示している理由を説明しなさい。(50 字以内)
- 問 3 表 I-1 を参考にして、アルゼンチンにおける 2008 年までのトウモロコシ生産の増加の特徴を指摘し、なぜそのような生産増加が可能になったのかを説明しなさい。(75 字以内)
- 問 4 図 I-1 は、アルゼンチンで飼育されている牛と羊の頭数の変化を示したものである。図中の C は牛と羊のどちらの頭数を表したものを答え、C の頭数が減少傾向にある理由を説明しなさい。(100 字以内)
- 問 5 アルゼンチンの羊の主要飼育地域はどこか、その地域が羊の飼育に適している理由とともに答えなさい。(50 字以内)

表 I-1 : アルゼンチンの主要農産物の生産量と収穫面積の推移  
(単位：生産量は千トン、収穫面積は千 ha)

	小麦		とうもろこし		Λ	
	生産量	収穫面積	生産量	収穫面積	生産量	収穫面積
1970	4,920	3,701	9,360	4,017	27	26
1975	8,570	5,271	7,700	3,070	485	356
1980	7,975	5,113	6,400	2,490	3,500	2,030
1985	8,743	5,404	11,900	3,340	6,500	3,269
1990	11,037	5,817	5,400	1,560	10,700	4,962
1995	9,542	4,933	11,404	2,522	12,133	5,934
2000	16,147	6,476	16,781	3,089	20,136	8,638
2005	12,722	5,028	20,483	2,783	38,290	14,032
2008	8,508	4,284	22,017	3,412	46,238	16,387

(出所：FAOSTAT)

図 I-1 : アルゼンチンにおける牛と羊の飼育頭数の推移 (単位：100 万頭)



(出所：FAOSTAT)

II 昨年3月11日に起こった地震にともなう津波被害ならびに復興に関し、地形図と写真を見て次の問いに答えなさい。

1 津波被害前に修正測量された、国土地理院発行2万5千分の1地形図が表す次の2つの都市の市街地(図Ⅱ-1, 図Ⅱ-2)は、いずれも津波に襲われた。A市市街地を襲った津波の高さは11m, B市市街地は15mとされている。2つの市の市境は、互いに接している。地形図を読図して、問いに答えなさい。なお、地形図は、解答に支障のないよう一部修整したうえ、拡大して複写してある。

(1) A市, B市それぞれについて、次の枠内a)~g)に挙げた公共施設の標高を5m刻みのメートル単位(5m, 10m, 15mのように)で示し、あわせて、津波に被災したか否か示しなさい。

解答は、解答用紙の1行目にA市, 2行目にB市を書くこととし、本設問で枠内に付したa)からg)までの記号とともに、A市a)=xm, b)=ym…(改行)B市a)=zm, b)=wmのように列挙すること。そして、津波で被災したと推定される施設には、a)=xmのように、全体にアンダーラインをひくこと。

a) 市役所	b) 病院	c) 警察署または幹部交番	
d) 消防署	e) 郵便局	f) 図書館	g) 高等学校

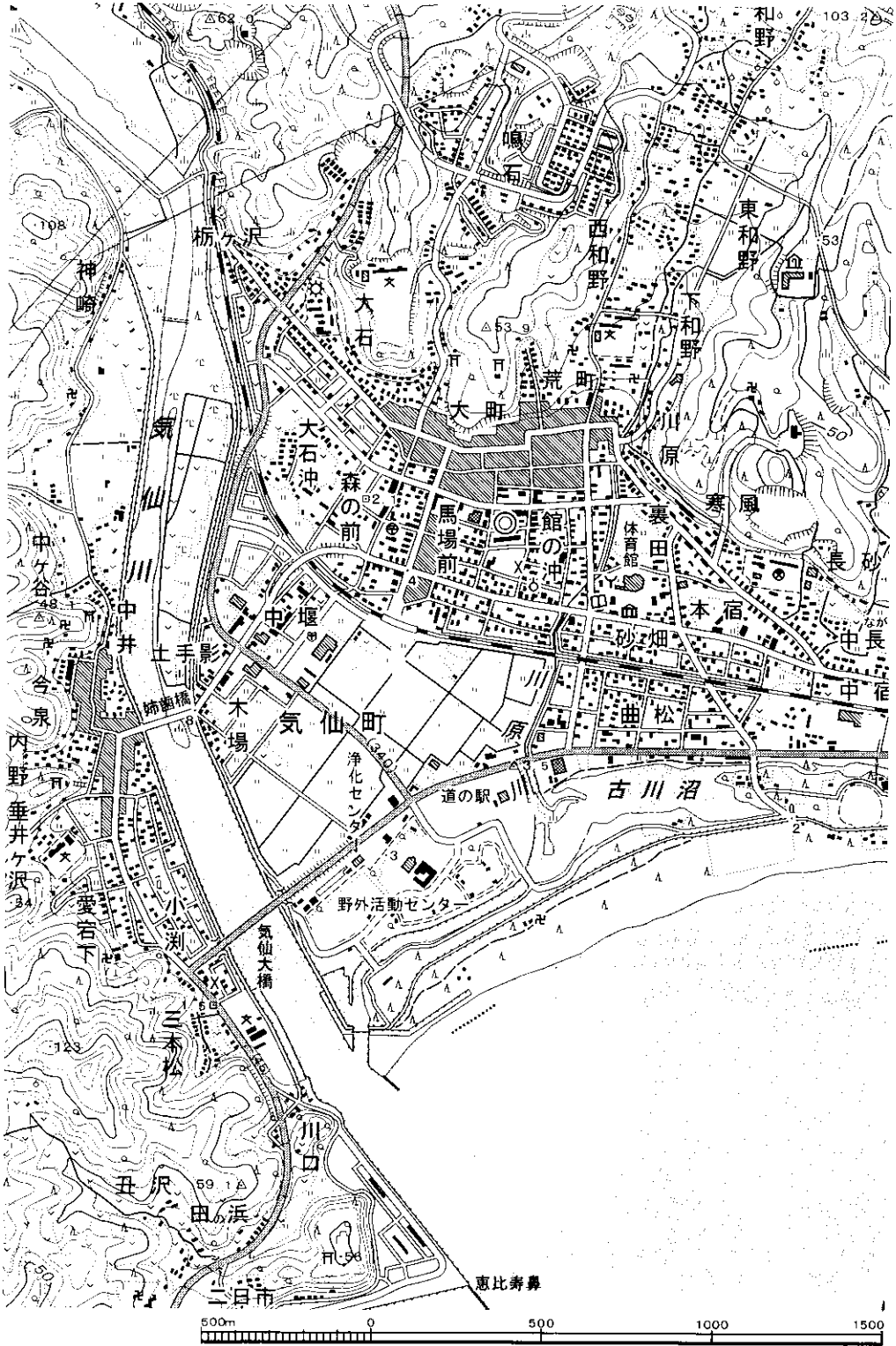
(2) (1)の解答, それぞれの都市を襲った津波の高さ, そして地図が示唆する市街地の構造をあわせ考慮し、公共ならびに商業施設に関わって、A, B両市の被害状況をそれぞれの市について記述し、かつ両市を比較しなさい。また、どちらの都市が効果的な復興により適した都市計画を行っていたといえるか、理由と共に述べなさい。(150字以内)

2 交通手段は、何らかの主体によって所有され、運営されている。所有形態の如何を問わず、復興のため、交通手段を早期に復旧させることが喫緊の課題であることはいうまでもない。

図Ⅱ-3, 図Ⅱ-4の2枚の写真は、いずれも、図Ⅱ-1ないし図Ⅱ-2いずれかの地形図が表す範囲内において、被災後およそ20日経った同じ日に撮影された。この写真をみて、次の問いに答えなさい。



図II 2 B市



- (1) 鉄道と道路の復旧状況についてそれぞれ記述し、違いを述べなさい。(50字以内)
- (2) 交通インフラの所有形態を考慮しつつ、この違いが、いかなる理由によって生じたと考えられるか、説明しなさい。(100字以内)
- (3) このような交通インフラの復旧状況において、被災者の生活にはどのような影響が及んだと考えられるか、述べなさい。なお、復興のこの時点では、この地区の近郊路線バスはまだ運行されていなかった。(50字以内)

图 II—3



图 II—4





### Ⅲ アフリカの航空輸送に関する以下の問いに答えなさい。

図Ⅲ－1は、サハラ以南アフリカ(北アフリカを除いたアフリカ)域内の国際線の旅客輸送量を示している(北アフリカやアジアなど、域外と結ぶ国際線は含まれていない)。図中の線の太さは輸送力の大きさに対応している。表Ⅲ－1は、サハラ以南アフリカにおける三大ハブ空港についてそれぞれ、アフリカ域外の都市と結ぶ国際線の定期便(直行便のみ)の就航先を示したものである。

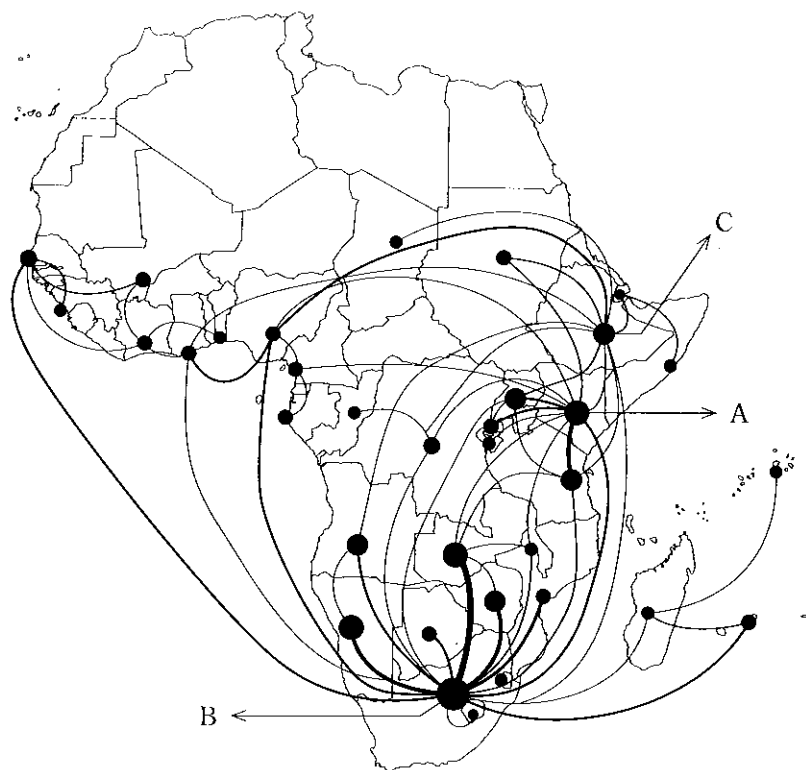
問 1 図Ⅲ－1と表Ⅲ－1にA, B, Cで示した三大ハブ空港がある都市名を答えなさい。解答は、解答用紙の1行目に、A = 都市名, B = 都市名, C = 都市名のように記すこと。A = , B = , C = はそれぞれ1マスを使うこと。

問 2 サハラ以南アフリカ域内の国際線の運行状況に関して、図Ⅲ－1を参照しながら、どのような特徴があるか説明しなさい。(100字以内)

問 3 表Ⅲ－1でアフリカの三つの国際空港が定期便を就航させている都市のうち、ロンドン、パリ、ドバイ、ムンバイ、バンコク、ホンコン(香港)の空港にはこの三つの国際空港のいずれもが定期便を就航させている。このうち、ドバイ、ムンバイ、ホンコン(香港)が上記三つの空港と定期便で結ばれているにはどのような理由があるか、それぞれの就航先について説明しなさい。(150字以内)

問 4 B国際空港が三大ハブ空港の中でも最大の旅客輸送量をもつ空港となった理由として考えられる点を説明しなさい。(125字以内)

図Ⅲ—1 サハラ以南アフリカ域内の国際線の旅客輸送量(2007年)



表Ⅲ—1：サハラ以南アフリカの三大ハブ空港からのアフリカ域外国際線定期便就航先(直行便のみ)

	地域	就航先
A 国際空港	ヨーロッパ	ロンドン、アムステルダム、パリ、ブリュッセル、チューリッヒ
	中 東	イスタンブール、マスカット、ドーハ、ドバイ
	南アジア	ムンバイ
	東南アジア	バンコク
	東アジア	コワンチョウ(広州)、ホンコン(香港)

	地域	就航先
B 国際空港	ヨーロッパ	ロンドン、パリ、アムステルダム、フランクフルト、チューリッヒ
	中 東	テルアヴィヴ、イスタンブール、ドバイ、ドーハ、アブダビ、ジッダ
	南アジア	ムンバイ
	東南アジア	バンコク、クアラルンプール、シンガポール
	東アジア	ホンコン(香港)
	オセアニア	シドニー、パース
	北アメリカ	ニューヨーク、ワシントン、アトランタ
	南アメリカ	サンパウロ、ブエノスアイレス

	地域	就航先
C 国際空港	ヨーロッパ	ロンドン、パリ、ブリュッセル、フランクフルト、ローマ、ストックホルム
	中 東	アンマン、バーレーン、ベイルート、ドバイ、ジッダ、クウェート、リヤド、サヌア(サナア)、テルアヴィヴ
	南アジア	デリー、ムンバイ
	東南アジア	バンコク
	東アジア	ペキン(北京)、コワンチョウ(広州)、ハンチョウ(杭州)、ホンコン(香港)
	北アメリカ	ワシントン